

# The Billy Elliot Times

VOL.2 @THE BILLY ELLIOT TIMES TOKYO, JAPAN. DECEMBER 18, 2016 FREE

## 初代ビリーがついに決定！全キャストも発表に



加藤航世

木村咲哉

前田晴翔

未来和樹

12月18日、ビリー役を務める4人がついに決定、発表されました！多くの報道陣が詰めかける中、胸に大きく「BILLY」と書かれたTシャツを着て登場した4人。審査員の一人である演出補のサイモン・ポラード氏によれば、「バレエ、アクロバット、タップ、歌、演技のスキルに加えて、“彼がビリーだ！”と思わせるきらめきと強い意志があること」が彼らを選んだ決め手だったと言います。そんな4人のプロフィールと、お披露目会見でのコメントを紹介していきます。

加藤航世(かとう・こうせい)君は、4歳からバレエを習い、コンクールでの入賞経験もある中学1年生。オーディションを受けた理由について、「僕もバレエをやっていて、ビリーに近いものを感じたから」と真っ直ぐな瞳で話します。木村咲哉(きむら・さくや)君は、アクロバットやヒップホップが得意な小学4年生。「バレエではみんなに追いつくのが大変だった」と言いつつも、「できない技ができるようになると嬉しいから頑張れた」と声を弾ませる明るさが印象的です。今年4月までアメリカに住んでいたという異色の経歴を持つ

は、小学6年生の前田晴翔(まえだ・はると)君。合格した時の気持ちについて、「嬉しかったけど、落ちた人もいたので、その子たちの分まで頑張りたい」と力を込めました。そして最年長、幼い頃から童謡を習い、自ら作詞作曲もしているという中学2年生の未来和樹(みらい・かずき)君は、「住んでいる熊本と東京とは全然違うけど、空の青さは変わらない。辛い時でも、空を見上げれば元気になりました」というロマンティックな一面を披露。サイモン氏が「これまでに世界中で誕生した100人以上のビリーがそうであったように、彼らも一人ひとり異なる個性を持っている」と語った通り、なんともカラフルな4人が集まる結果となりました。

この日の会見ではまた、ビリー役以外の全キャストも発表に。お父さん役の吉田鋼太郎と益岡徹、ウィルキンソン先生役の柚希礼音と島田歌穂をはじめ、海外スタッフをして「このワールドクラスキャストとの稽古が楽しみ」と言わしめる顔触れが揃いました。総勢58名で作り上げる『ビリー・エリオット〜リトル・ダンサー〜』日本初演にどうぞご期待ください。

# SHOW&TELL ～最終候補14名の最後の「発表会」～

約1年に及んだオーディションの結果がついに発表された会見の2日前、スタジオでは「SHOW&TELL」と呼ばれる発表会が行われていました。候補者たちの親御さんを招き、日頃のサポートに対する感謝を込めて、これまでのレッスンの成果を披露するためのイベントです。

パフォーマンスの幕開けを飾ったのは、ビリー&マイケル役候補、総勢14名による《Expressing Yourself》。曲名の通り、実に



のびのびと個性を弾けさせる彼らに、大きな拍手と笑いが沸き起こります。続いてはビリー役候補7名が、《Electricity》の歌と《Solidarity》のダンスを披露。

そのピュアな歌声と、最初からは考えられないほど上達したバレエは、日本語版『ビリー・エリオット』の成功を予感させるに十分です。

そして最後には、再び14人全員で《Expressing Yourself》！海外の舞台でお馴染みのタップシーンが日本の少年たちによって繰り広げられる、ミュージカルファンにとってはまさに夢のような光景をもって、15分ほどの発表会は幕となりました。

## お披露目会見でのビリーズ&審査員をキャッチ！



会見には、ビリーズの成長を見守り続けてきた(後列左から)振付・音楽・演出スタッフとプロデューサーも出席。努力と進化を改めて讃えられ、笑顔が弾けました。

プレビュー公演 2017年7月19日(水)～7月23日(日)  
TBS赤坂ACTシアター S席12,500円、A席8,500円  
東京公演 2017年7月25日(火)～10月1日(日)  
TBS赤坂ACTシアター S席13,500円、A席9,500円  
大阪公演 2017年10月15日(日)～11月4日(土)  
梅田芸術劇場 メインホール S席13,500円、A席9,500円、B席5,500円

## Column

### 深掘りキーワード②

#### ロイヤル・バレエ・スクール

劇中でビリーがオーディションを受けるロイヤル・バレエ・スクール(RBS)は、実在するイギリスのバレエ学校。フランスのパリ・オペラ座バレエ、ロシアのマリンスキー・バレエと並び、世界三大バレエ団と称される「英国ロイヤル・バレエ」で活躍するダンサーを数多く輩出しています。東洋人として初めて同団に入団し、プリンシパル(最高位ダンサー)にまで上り詰めた熊川哲也さんもかつてはRBSで学んでいて、映画で大人になったビリーを演じたアダム・クーパーさんとは同級生でした。ビリーが目指すのは、世界中のバレエ少年少女たちが憧れてやまない超名門校なのです。

チケット発売日及びキャストスケジュールに関しては、公式HPをご確認ください。